

櫻守の会

2025年1月号

2025年1月1日(通巻308号)
発行: 櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 96名(12月25日現在)
HP: <https://www.sakuramori.net/>

家庭菜園を始めました

小石 雅一

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年、元日を能登半島地震のニュースで迎えました。その後も台風や豪雨による自然災害が多く発生した一年でした。度重なる大雨や夏の猛暑の影響でしょうか、活動地では、倒木や枯れ松が多かったように思います。新たに迎えるこの年が、幸い多き年となります様、心から願わずにはられません。

私は、昨年4月から家庭菜園を始めました。農薬や化成肥料を一切使わず、安心して食べられ野菜をいっぱい作ろうと意気込んで始めたのですが、今のところ、健闘むなしく惨敗というところでしょうか。

大好きなトマトは、カラスと虫たちの食べ放題。ほとんど口にできませんでした。大いに期待していたトウモロコシは、収穫直前にアライグマにさらわれました。枝豆の栽培にも挑戦しました。枝豆の大敵はカメムシです。カメムシは木酢液で防げると聞いたので、せっせと噴霧器で散布してみましたが効果はなく、カメムシに吸われた豆は鞘だけ、中の実は育ちませんでした。守りの甘かった私の畑は、動物や虫たちの食べ放題ビュッフェ状態でした。ただ、初夏の朝。畑は朝露に輝き、ツバメやトンボが目の前を盛んに飛び回り活動するのを見ていると、元気がもらえる気がします。



秋に入ってから、虫の姿も少なくなり一息つけるのが嬉しく思いました。さてそれからは、冬の寒さを乗り切る工夫をしました。玉ねぎの周りに稲わらやもみ殻を敷き詰めたり、草で苗を守ったりしています。写真は、クローバーに囲まれて育つソラマメです。通常は、畝をビニールで覆うことが多いのですが、ビニールは一度使うと廃棄になります。環境への影響を配慮して、クローバーを生やしてみました。冬を無事に越したら春に大きく育ち、立派な豆をつけてくれることでしょうか。焼きソラマメやソラマメご飯で頂くのが今から楽しみでなりません。土の中には、土壌1グラム当たり数百億個の微生物が住んでいると言われています。植物の根の先からは、糖分やアミノ酸などが分泌されて、微生物を養っています。微生物は土の中から植物に必要な栄養などを供給します。この様に多くの根があることで、微生物も豊かになればと考えています。

さてこの原稿を書いている間に、気になるニュースを耳にしました。産業革命以後の地球の平均気温が1.5度以上、上昇することが確実となったこと。また、アマゾン川では、2年連続となる干ばつの影響で、川の一部が干上がってしまったということです。アマゾンといえば熱帯雨林のうっそうとした森のイメージを持っていたので、驚いてしまいました。ますます自然環境への配慮が不可欠な時代になったと感じさせるニュースです。

私が櫻守の会に参加してから、二年半が経ちました。山での活動を通じて、様々なことを学ぶことができました。木の伐採は、後の枝葉の処理も加えると大変な作業です。実際に体験するまでは想像さえしませんでした。しかし、同時に野外での活動は楽しい時間でもあります。自然を身近に感じながら活動すると、気持ちも体も大いにリフレッシュ出来て、一度体験すれば多くの方がきっと好きになるだろうと思うのです。山林での活動も、畑仕事も、まだ体験しておられない方がおられたら、この機会にぜひ一度いかがですか。

***** 目次 *****

- P1 序文：家庭菜園を始めました（小石 雅一）
- P2 2024年12月度活動実績表
- P3～5 活動報告：桜の園（亦楽山荘）、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、
- P5～6 お知らせ・案内：運営委員会報告、山手台活動時のトラブル報告と運営委員会からの提言
- P6～8 櫻守ひろば：「北摂里山大学」を受講して⑥、「活動地のグルメ山の幸」投稿募集！
- P8 活動予定表

< 2024年12月度活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
11/21(木)	ゆずり葉の森 14名	晴れ	(白瀬川第二堰堤上平) 2本株立ち大径コナラ倒木の伐採、処理	4
			(西高G下平、コバノモツバツツジの丘) 笹、灌木等の刈り取り	6
			(行者山登山路・白瀬川左岸尾根ルート上) 園路・階段、路肩の改修	4
11/24(日)	桜の園・亦楽山荘 20名	晴れ	(桜坂) 園路整備、東屋下常緑樹間伐	8
			(遠見の道) シダの刈り取り、枯れ木伐採、倒木処理、常緑灌木の間伐	9
			(親水広場周辺) 広場階段、倉庫周りの清掃、園路の整備	3
11/27(水)	青葉台 14(1)名	曇り	(光が丘ルート) シダ刈り	5
		後	(陽光広場、北逆瀬台口～行者山登山路) 枯れ木の伐採	6(1)
		晴れ	(光が丘ルート) 園路・路肩、階段の改修	3
11/30(土)	ふらざこむ1 7名	晴れ	会報12月号印刷・発送 / 運営委員会	7
12/1(日)	武庫山の森 19名	晴れ	(育苗地) 笹部桜の日当たり改善のための間伐	6
			(北側道沿い) フェンス、溝の掃除	7
			(東側道沿い) フェンス、溝の掃除	6
12/6(水)	桜の園・亦楽山荘 17名	晴れ	(桜坂) 伐採木の整理と常緑樹間伐	9
			(遠見の道) シダの刈り取り、枯れ木伐採、倒木処理、常緑灌木の間伐	8
12/11(水)	桜の園・亦楽山荘 17名	晴れ	(桜坂) 伐採木の整理と常緑樹間伐/ 廃線敷き入り口護岸トラロープ更新	9
			(遠見の道) シダの刈り取り、枯れ木伐採、倒木処理、常緑灌木の間伐	8
12/13(金)	ゆずり葉の森 18名	晴れ	(腕白原っぱ) 枯れ木伐採、常緑樹下枝打ち、間伐	7
			(コバノミツバツツジの丘) 笹刈り	5
			(行者山登山路・白瀬川左岸尾根ルート上) 園路・階段、路肩の改修	6
12/17(火)	山手台 18名	晴れ	(大階段・南斜面) 大階段および集合広場の清掃 アベマキ等の枝の間伐	5
			(北斜面; 中川大橋寄り) 枯れ松伐採 桜周りの除伐	7
			(北斜面; 桜植樹地) クズ処理(伐採・根の掘り上げ・薬品注入) 草刈り	6
12/21(土)	武庫山の森 16名	曇り	(武庫山ルート) 見通し改善のための常緑樹処理	8
			(北側道沿いから広場) トウネズミモチの間伐	8
			延べ参加者数	160(1)

桜の園 (亦楽山荘)

11/24(日) 例年よりは遅目ですが紅葉も進みだしていました。東屋下のビューポイントが見頃で他のところはまだ青葉が多いようでした。遠見の道ではシダの刈り取り、枯れ木の伐採、倒木、落ち枝の処理を行い、園路からの眺望が大きく改善できました。桜坂の園路の排水溝の整備、階段の補修を行った後、東屋周辺のみみじのビューポイントからの景観を損ねていた、ヤブツバキの伐採をはじめとして東屋周辺の谷、主にアラカシ主体の常緑樹の間伐を行い、森を明るくしました。更にシロバナウンゼンツツジ保全班も城ヶ丘広場上部の群生地で保全活動を行いました。(坂田 記)



東屋ビューポイントの紅葉



遠見の道 枯れ松の伐倒



桜坂 配水溝の整備

12/6(水) 晴れてはいるものの風が冷たく、いよいよ冬の訪れを感じた一日でした。遠見の道は背丈ほどにも伸びたシダ刈り、常緑間伐、枯れ木の処理等の継続作業でした。作業場所が上部に移るにつれて現地への到着が遅くなり実作業時間が短くなっています。桜坂では、伐採処理した枯れザクラや倒木サクラが周辺のあちこちに集積されて景観を阻害していましたが、大きな物は動かせる長さまで再度チェーンソーで切断し移動して集積し直しました。力仕事で重労働でしたが大分すっきりしました。(坂田 記)



遠見の道 シダの刈り取り



桜坂 斜面の大径幹を移動し安定化



桜坂 伐採木を移動させた後

12/11 (水) 今日風が冷たい一日でした。前回からの継続作業でした。他に廃線敷き入り口広場の武庫川側の護岸部に仮設してあったトラロープも含め張り直しをしました。遠見の道では登山道に降り積もった落ち葉の除去を行い浮石だらけの道で躓かないよう改善しました。(坂田 記)



桜坂、サクラ伐採木移動作業



廃線敷入口護岸の安全トラロープの張替



紅葉が綺麗です

青葉台

11/27 (水) 11月も下旬、早くも冬入りと思わせる気候で、今年は秋の期間が短く感じられました。本日は光が丘ルートで1班が園路の路肩と階段の改修を、1班が園路両脇にシダが繁茂している約10m強の区間のシダ刈りを行い、安全で気持ち良く通行できるように改善しました。もう1班は陽光広場～北逆瀬台口～行者山登山路合流点間で直径約20～数cmの枯れ木を数多く伐採しました。(加賀野 記)



光が丘ルートの路肩、階段改修



陽光広場の枯れ松伐採処理



行者山登山路中段の枯れ松伐採

ゆずり葉の森

11/21 (木) 快適な秋晴れ。白瀬川源流ルート中段の第二堰堤上平の上辺で、直径40cm強で高さ凡そ15m強の二股の大コナラが根元部で折れ、先端部が10m以上離れたサクラ2本に掛かっていたためその伐採と処理に約3時間半要しました。その他に白瀬川左岸尾根ルート上部～行者山登山路バイパス合流点間の急坂路の階段と路肩を改修するとともに、西高グランド下平で繁茂するススキ等草木類の刈り取りを行いました。(加賀野 記)



第二堰堤上平
大コナラ倒木2本の処理



イチヤクソウの丘上急坂路
梯子接続部階段新設



西高グランド下平で草刈り

12/13 (金) 少し肌寒い1日。活動地入口白瀬川源流沿いの腕白原っぱで、枯れ松の伐採と常緑の松、アカシの間伐と枝打ちを行い見晴らしを改善しました。コバノミツバツツジの丘では南北園路両脇の笹と灌木を刈り取りスッキリさせるとともに、白瀬川左岸尾根ルートの上辺部急坂の階段と路肩の改修を行い、通行安全性を改善しました。(加賀野 記)



腕白原っぱで枯れ松伐採



コバノミツバツツジの丘で笹刈り



白瀬川左岸尾根ルート上辺
急坂の階段と路肩の改修

山手台

12/17(火) 今年最後の活動日は、晴れて風もなく思ったよりも暖かな天候でした。大階段およびその周辺では、年末年始に備えきれいに掃除しました。北斜面の中川大橋寄りの斜面では、今年も多くの松が枯れましたのでそれらを伐採しました。桜植樹地およびその周辺では、いろいろな方法でクズの駆除に取り組みました。生い茂ったクズは刈払機や鎌や剪定ばさみ等を使用して伐採し、既に伐採したところではトンガやツルハシを使用しての根の掘り起こしや新たにクズ専用の除草剤を使用する方法も試みました。クズは生長も早く根も深いため駆除が難しいものですが、これらの方策が効果をあげ、来年以降の作業がやりやすくなることを期待しています。

作業が終わってから、全員で安全祈願をし、乾杯で締めて終了しました。

(岡 記)



大階段もきれいに



北斜面；枯れ松の伐採処理



桜植樹地；クズ根の掘り起こし

武庫山の森

12/1(日) 師走初日の作業は絶好の日和で気持ち良く作業ができました。育苗地の笹部桜の日当たり改善の継続で、クスノキやトウネズミモチの処理をしました。今後の桜の成長が楽しみです。北側と東側道沿いの掃除をしました。フェンスに加え溝際に生えた草、溝の落ち葉も掃除をしております。通りがかりの方から感謝の声掛けもいただきました。少し早いですが新年を迎える準備ができました。

12/21(土) 本年最後の作業は曇りながら風はなく温かさを感じられました。武庫山ルートの見通し改善するための常緑樹処理を再開しました。丁寧に作業をしながら簡易堰堤付近まで進みました。北側道沿いから広場までのトウネズミモチの間伐をしました。庭木から森に侵入して増えてきているのですべて伐採しました。作業終了後は全員で山の神様にこの一年無事に作業をできたことを感謝しております(横山 記)。



入口付近のフェンス草取り



トウネズミモチの伐採



山の神様に今年の無事を感謝

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (2024年11月度)

代表 近藤 茂

2024年11月30日(土) 9:40~11:30 ぷらごこむ1

1. トラブル報告・・・11月19日(火) 山手台活動中に打撲事故発生
 - ・運営委員会で事故に至った経緯を確認すると共に、対策(運営委員会からの提言)を討議した。
 - ・それらを整理して、会員の皆さんに伝えることにした。(この下の事故報告記事をお読みください)

2. 「櫻守ひろば」の新企画：「活動地のグルメ山の幸」
 - ・どのようにして会員から記事を集めるのか、会報への掲載のしかた等について討議した。
 - ・会員の皆さんにヒアリングして「どのような内容なら投稿し易いか」を探る。→会報にて募集（今月号の<櫻守ひろば>の原稿募集記事を読んで、投稿にご協力ください）
3. 公開講座の準備状況の確認・・・順調に進んでいる。12月16日より受付を開始する。
4. 救急セットの見直し
 - ・過去に何回も見直しを行っているが、最近の情報を取り入れて見直しをすることにした。
 - ・救急用品として必要最小限のものにして、古くなっている各活動地の中身を更新する。
5. 体験参加者の減少・・・本年度になってから体験参加申込者が激減している。広報活動の一部見直しを行った。

山手台活動時のトラブル報告と運営委員会からの提言

運営委員会

【事故内容】

- ・2024年11月19日（火） 山手台・南斜面で枯マツを伐採処理作業中のトラブル
- ・伐倒した幹を大鋸で玉切り作業中に大鋸が挟まった。他のチーム員（補助者）が反対側から幹を持ち上げて大鋸を外した。玉切り作業者は大鋸で更に切断を進めたが、皮一枚が残って外れなかったため、声かけなしに足で幹を蹴ったところ、補助者の手から幹が落下して両脛を打撲した。
- ・負傷者は医療機関で検査をしたが、骨に異常なかった。傷みが引くまで2～3週間かかる見込み。

【事故に至った原因】

- ・直接の原因は声かけなしに丸太を足で蹴ったことであるが、他にも何点かの問題点が指摘された。

【運営委員会からの提言】

下記の提言は、すべて安全作業の基本ルールです。特に共同作業を行う時は配慮してください。

- 1) 作業効率より安全第一を基本として、時間がかかっても良いから確実な安全作業を行うこと。
- 2) チームリーダーはチーム全体の作業方法の決定と進捗管理を行う。自ら作業を行う時はチーム員の動きを把握するよう心掛ける。
- 3) 作業前のミーティングを必ず行い、安全対策を講じた作業方法を決めた後に作業に入ること。途中でトラブルが生じた時は、関係者間でミーティングを行い、方針決定後に作業に入ること。
- 4) 個別の安全対策・・・
 - ・上下作業の禁止
 - ・切断した丸太等の転がり防止対策
 - ・外れなかった幹を足で蹴る事の危険性の認識
 - 等

< 櫻 守 ひ ろ ば >

「北摂里山大学」を受講して ⑥ （全9回）

清水 厚真

第5、6回講座 有馬富士公園（三田市有馬富士自然学習センター）

里山林における植生調査、植生調査に基づく間伐実習

里山の再生を始めるにあたっては、森林の現状を調査しどのように整備を進めるのが望ましいか、あるべき姿の目標設定が重要です。学術的な視点で植生を調査・分析・考察し、その結果に基づき、「目標林」を設定します。本講座では、園内にある北摂里山大学の学習林を使って、植生調査の実習と植生管理（間伐）実習を、2回連続で行いました。

今回のカリキュラムは、最も興味深いものでした。里山放置林の実際の演習林を使って、調査の段取りを整え、植物の名称や観察記録、その後の植生管理（間伐作業等）の実際を実習し、普段の里山林の保全活動にどのように活かすか、考えさせられました。

1. 植生調査と植生管理

第1日目 植生調査の講義と実習 2023年10月7日開催

里山放置林樹木調査の講義は、意義、調査区域の選定・面積、樹高に合わせた階層区分、植物の形態を

もとにした区分け方法である生活形（生物学用語、植物の形態に基づく区分け方法）、植物種リストの作成方法、階層毎の葉の被度の測定方法等、学術的な解説は、初めて聞く内容であり、理解にはほど遠いものでした。

今回のカリキュラムでは、素人でも実施できる植生調査の方法が設定されており、植物調査の意義や手法について、簡略化され分かり易い内容でした。実習林では、講師や指導員（助手）の元で、スムーズに実習することができ、植生調査の初歩を体験することができました。以下に、本実習の要素を簡単に記しておきます。



放置林 樹木調査の実習場のイメージ

1) 班構成

講師と助手、受講生 8 名とし、全員で 10 名程度

2) 植生調査区域、作業準備

- ・北摂里山大学里山放置林（実習林）、2017 年度から実施
- ・作業道具：50m 巻尺、トラロープ、調査表、シャープペンシル 等々
- ・巻尺を使って 10m×10m（100 m²）とし、杭とトラロープで区切る

3) 植生調査の実習

- ・講師を中心に、調査の進め方、調査表の記入方、など意思統一を行う
- ・T1 高木層から順に、植物名と個体数、胸高周囲など調査し記録する
- ・T2 亜高木層は全員で調査を実施し、結果を筆記係に伝える
- ・S1 第 1 低木層、S2 第 2 低木層、H 草本層は小分けしたグループ単位で、植物名と個体数を調査する。種名が分からない（度々あった）ときは講師に尋ねる
- ・講師は、各階層の植被率、出現種の被度を測定し、調査対象の地形条件等を書き込む

4) 当日所属した班の植生調査結果（簡略した抜粋版、S2、H はカウントせず）

階層	生活形	主な樹種と個体数	個体数	植被率(%)
T1 高木層	高木 (20m以上)	アカマツ 1、コナラ 5	6	65
T2 亜高木層	小高木 (20~8m)	クリ1、コナラ1、ソヨゴ7、マルバアオダモ4、枯死1	14	60
S1 第 1 低木層	低木 (8~2m)	イヌツゲ 2、ウリカエデ 2、ソヨゴ 8、・・・	96	45
S2 第 2 低木層	矮性低木 (2m 以下)	アセビ、サルトリイバラ、コバノミツバツツジ・・・	—	1
H 草本層	地生多年草	アカマツ、アセビ、ネザサ、マンリョウ・・・	—	10

植物の名称が分かることが第一であります。出現頻度の高いコナラやソヨゴが分かる程度で、初歩の初歩でした。更に、林床に生えている樹種は、特徴のあるアカマツ程度で、発芽したばかりの幼木は検討もつきません。何事も、経験が大事と納得しました。 ~以下・次号~

「活動地のグルメ山の幸」投稿募集！

瀧本 浩一

櫻守ひろばに掲載中の「北摂里山大学」を受講して（全 9 回）が 4 月号で終了予定です。

次の連載企画として、ボランティア活動地のグルメ山の幸投稿を募集します。あなたの自慢のレシピなどをぜひ教えてください。

*ボランティア活動で採れた新鮮な山の幸を使ったレシピ

*山の幸に対する想い出

投稿内容

*タイトルと投稿者名（必須）

*材料名 例：タラの芽（季節の山菜）、ムベ（珍しい果実）、ナラタケ（毒性のないと分かった地域限定のキノコ）など

*作り方、食べ方など

*写真（1~2 枚）

原稿作成が面倒な方は瀧本がインタビューし、お手伝いします。

上記を記載の上、瀧本までご連絡ください。PC アドレス takimoto.kouichi@sepia.plala.or.jp



投稿例

活動地の山の幸 アケビ新芽のお浸し

瀧本 浩一

活動地で良く見かけるアケビ、紫色に熟れた果実は食べたことあると思いますが、山手台の活動地で「春の新芽のお浸しも美味しいよ!」と教えてもらいました。山椒の新芽を「木の芽」と言いますが、信州や東北ではアケビの新芽を「木の芽」と言うそうです。

4月頃にアケビの新芽の柔らかい部分（ポキポキ折れる部分から先）を収穫します。新鮮なうちにたっぷりのお湯と塩少々（適当）サッと湯がき（30秒～1分）、鮮やかな緑色になったら冷水に取って15分くらい冷まします。あとはカツオブシ、卵黄身と醤油で味付けすれば、ほろ苦い味わいとポリポリした食感が楽しめます。ツナ缶とマヨネーズならさらに贅沢な味わいとなるでしょう。



< 活動予定表 (2025年1月・2月) >

月別行事予定表

1月		場所等	2月		場所等
1月 5日	日	武庫山の森	2月 1日	土	公開講座
1月 10日	金	桜の園(亦楽山荘)	2月 2日	日	武庫山の森(新人技能研修会予備日)
1月 15日	水	桜の園(亦楽山荘)	2月 5日	水	桜の園(亦楽山荘)
1月 18日	土	武庫山の森	2月 10日	月	ゆずり葉の森
		新人技能研修会(武庫山の森)	2月 13日	木	桜の園(亦楽山荘)
1月 21日	火	山手台	2月 15日	土	武庫山の森
1月 23日	木	ゆずり葉の森	2月 18日	火	山手台
1月 25日	土	会報印刷・運営委員会	2月 22日	土	会報印刷・運営委員会
1月 26日	日	桜の園(亦楽山荘)	2月 23日	日	桜の園(亦楽山荘)
1月 29日	水	青葉台	2月 26日	水	青葉台

集合時間：桜の園（亦楽山荘） 親水広場9時50分、武庫山の森9時50分、他の3活動地は9時30分。

天 候：当日朝 6時55分NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

（編集後記） 明けましておめでとうございます。

今年の冬は寒くなりそうな予報で、というか既にかなり寒くなっております。歳と共に寒さに弱くなっている私にとってはありがたくないことになりそうですが、気合を入れて乗り切りたいと思っています。新しい年の初めの活動日には元気一杯でお会いしましょう。

（坂田）